

平成16年5月6日

各位

株式会社 愛知銀行
名古屋市中区栄三丁目14番12号
代表者名 取締役頭取 小出眞市
(コード番号 8527 東証・名証各第1部)
問合せ先
取締役総合企画部長 菊田一彦
(TEL. 052 - 251 - 3211)

平成16年3月期末の「有価証券評価損」について

当行では、金融商品の時価会計基準に基づき、「その他有価証券」について、取得原価に比べ時価あるいは実質価額が著しく下落した銘柄につき減損処理（有価証券評価損）を行っております。

この度、平成16年3月期末における有価証券の減損処理額を算出いたしました結果、下記のとおりとなりましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成16年3月期末の有価証券評価損の総額

(A)平成16年3月期末の有価証券評価損の総額	845百万円
(B)平成15年3月期の純資産の額 (A/B×100)	118,515百万円 (0.7%)
(C)平成15年3月期の経常利益額 (A/C×100)	6,450百万円 (13.1%)
(D)平成15年3月期の当期純利益額 (A/D×100)	1,922百万円 (43.9%)

(ご参考) 時価が「著しく下落した」と判断するための基準は、時価が取得原価と比べて30%以上下落したもののうち、50%以上下落したものは原則全額、30%以上50%未満下落したものは、過去一定期間の時価の推移や発行会社の業況の推移、また、市場環境の動向等を考慮のうえ、回復の可能性が認められないと判断される銘柄を減損処理しております。

なお、時価のない銘柄は、取得原価に対して実質価格が原則として50%以上下落した銘柄を減損処理しております。

2. 業績見通し

平成16年3月期の業績予想につきましては、単体・連結とも、変更はございません。

以上